

2. 協議事項(2)



# 久留米市セーフコミュニティ 防災対策委員会

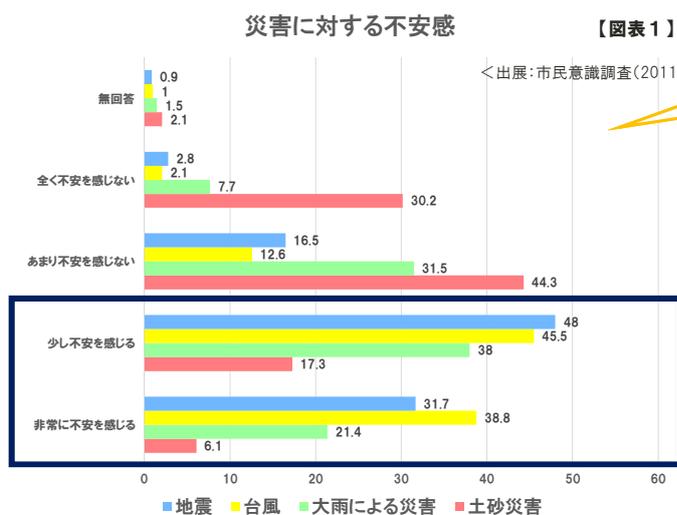


発表日 2023年 月 日  
発表者 防災対策委員会委員長  
所 属

## 1-1. 防災対策委員会の設置の背景

### ★客観的データ

<2011年取り組み開始時>



市民の災害に対する不安感が高い

不安感を減らすため  
取り組みの強化が必要

セーフコミュニティで  
災害に備える!

## 1-2.防災対策委員会の設置の背景

災害に備えた対策 【図表2】

対策	割合
地震・水害などに対応し...	29.6
家族との連絡方法	20
非常持ち出し袋の用意	13.3
家具や冷蔵庫などの転...	12.2
建物の耐震化	9.1
特にしていない	46.2

<出展:市民意識調査(2011年)>

★主観的データ

<2011年取り組み開始時>

市民の多くは災害に不安を感じている！

↓

しかし、市民の半数近くが災害に対する対策をとっていない

↓

協働で防災力の向上に取り組むことで市民の安心感が高まる！

2012年(H24)3月  
防災対策委員会設置

## 2.防災対策委員会の構成メンバー (2022年現在)

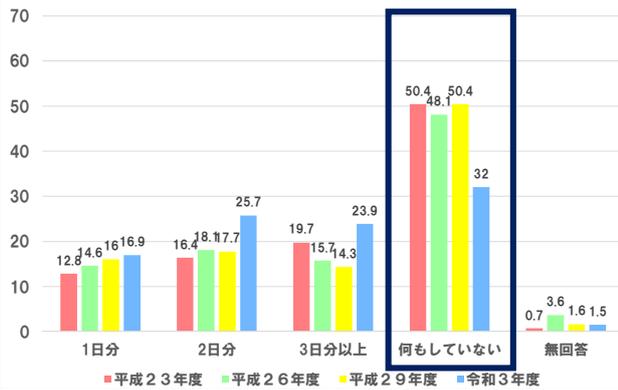
区分	NO.	所属
関係団体	1	久留米市校区まちづくり連絡協議会
	2	久留米市民生委員児童委員協議会
	3	福岡県防災士ネットワーク久留米支部
	4	久留米市消防団
	5	(社福)久留米市社会福祉協議会
警 察	6	久留米警察署 (警備課)
消 防	7	久留米広域消防本部 (救急防災課)
行政機関	8	久留米市健康福祉部地域福祉課
	9	久留米市総務部防災対策課

### 3-1.データに基づく課題

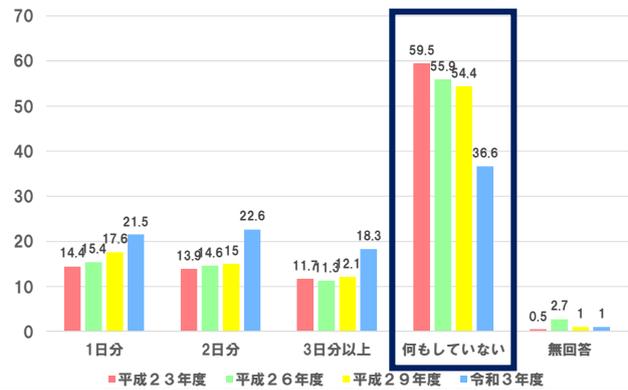
<出展:市民意識調査(2021年)>

頻発する災害を受け徐々に上昇はしているものの、  
水・食料の備蓄は「何もしていない」人の割合はまだ多い

水の備蓄状況



食料の備蓄状況

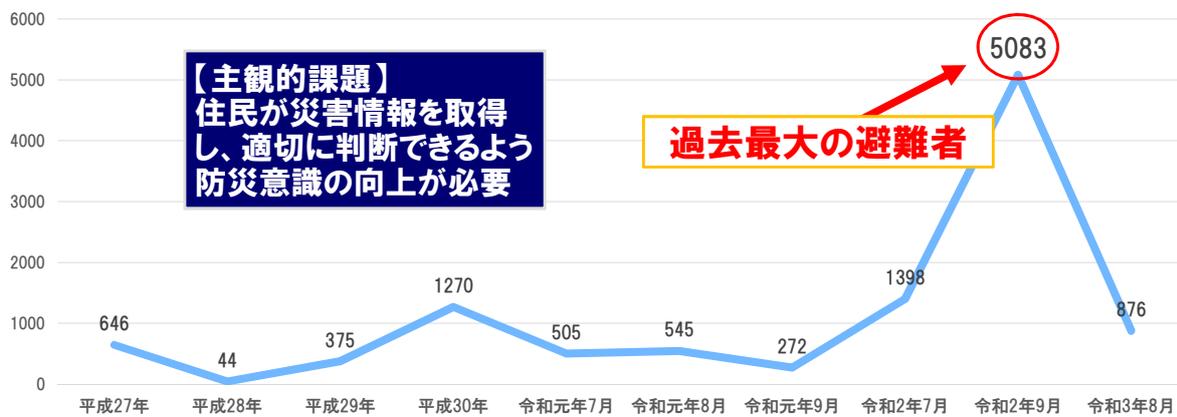


### 3-2.データに基づく課題

近年、避難が必要な災害の増加により、避難者数も増加傾向

災害における避難者数

【図表3】

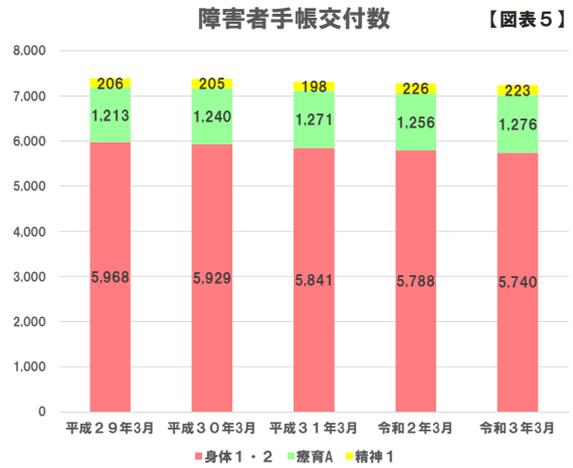
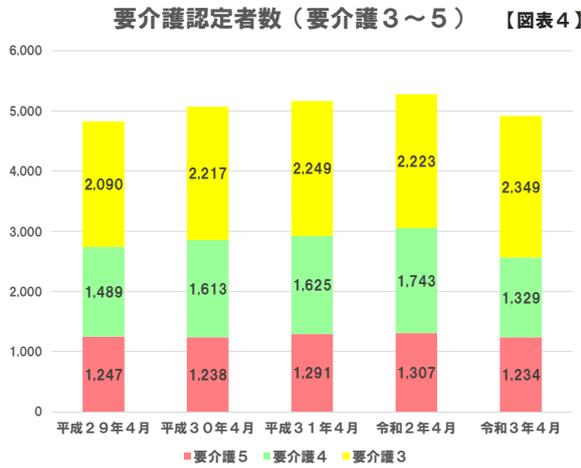


【主観的課題】  
住民が災害情報を取得し、適切に判断できるよう  
防災意識の向上が必要

過去最大の避難者

### 3-2. データに基づく課題

#### 自力避難が困難な高齢者や障害者の現状



### 4-1. 課題解決のための目標と具体的施策



## 4-2. 課題解決のための目標と具体的施策



## 5-1. レベル別の対策

目標	ソフト対策				ハード対策
	分類	国県レベル	市レベル	地域レベル	
自助・共助の防災意識の高揚	教育・啓発		イベントにおける啓発 出前講座 総合防災訓練	出前講座への参加	【行政】 流域治水 プロジェクト の設置
	規制		【SC】 防災研修・訓練・啓発の実施		
	環境整備	災害対策基本法	地域防災計画の策定		
地域住民の先頭に立つ防災スキルを持ったリーダーが必要	教育・啓発		自主防災研修・訓練の実施 防災士・防災リーダーが地域で活躍できる体制の検討	防災士・防災リーダー養成講座への参加	
	規制		【SC】 防災に精通するリーダーの育成		
	環境整備	災害対策基本法	防災リーダー研修会の実施 防災士資格取得費用の助成 防災スキルアップ研修会の実施		

## 5-1. レベル別の対策

目標	分類	対策		
		国県レベル	市レベル	地域レベル
要支援者名簿登録者数を増やす	教育・啓発		出前講座（要支援者制度） 校区まちづくり連絡協議会等での説明	出前講座への参加 研修会等への参加
	規制	【SC】避難行動要支援者名簿の登録促進		
	環境整備	災害対策基本法	避難行動要支援者名簿作成・配布 登録対象者への案内文書送付	要支援者への登録勧奨
要支援者情報の共有と個別支援計画の具体化	教育・啓発		名簿を活用した図上訓練の実施 出前講座（自分でつくる災害時マイプラン）	図上訓練への参加 出前講座への参加
	規制	【SC】避難行動要支援者個別支援計画の充実		
	環境整備	災害対策基本法	専門職による災害時マイプランの作成 支援	要支援者への日頃からの見守り・声掛け・災害時の避難情報の伝達

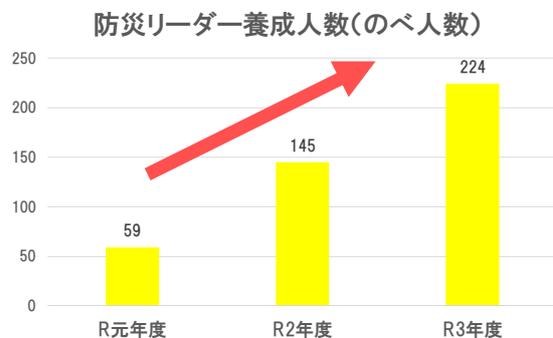
## 6-1. 具体的施策の紹介・成果

### ①防災リーダーの育成



平日・休日の2コースで実施  
4つのカリキュラムを受講

#### 久留米市独自のカリキュラムで 防災リーダー養成講座を実施



## 6-1. 具体的施策の紹介・成果

### 流域治水推進プロジェクトの設置

4年連続で広範囲に  
河川の溢水や内水氾濫が発生

#### 降雨の状況

- 令和3年8月11日～19日  
 ・総雨量 896.5mm (9日間累計)  
 ・1時間最大雨量 72.0mm  
 ・24時間最大雨量 387.0mm  
 ・48時間最大雨量 572.5mm  
 ・72時間最大雨量 718.5mm

観測史上  
8月1位

観測史上  
最大



- 流域治水推進プロジェクトでは・・・
- ・貯留施設の整備など、浸水対策及び減災対策につながる新たな施策の検討と実施に向けた調整
  - ・既の実施している施策についての進捗状況管理と調整

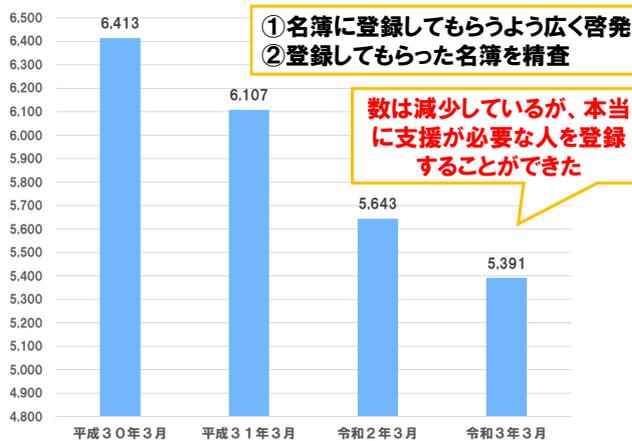
組織横断的に  
浸水対策に取り組む

## 6-1. 具体的施策の紹介・成果

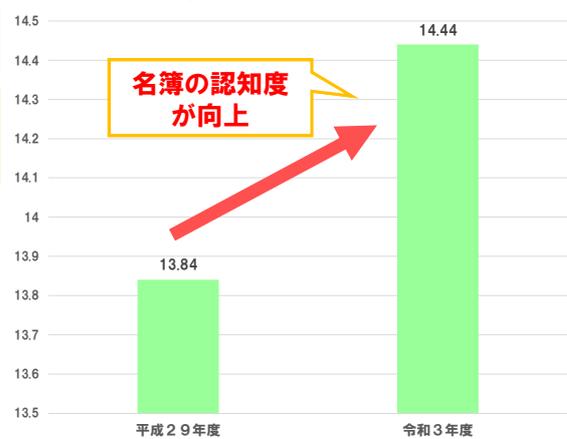
### ②要支援者名簿の登録促進

<出展:セーフコミュニティに関する実態調査>

避難行動要支援者名簿登録者数



避難行動要支援者名簿の認知度 (%)



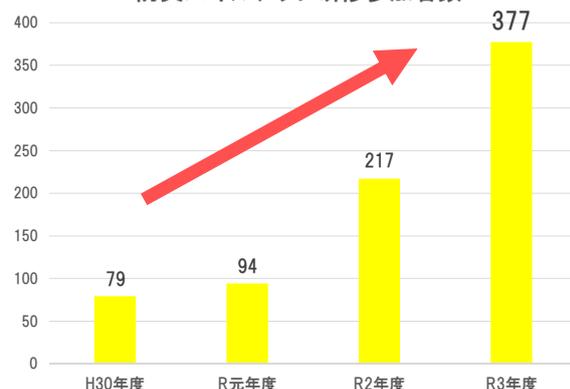
## 7. コロナ禍の工夫

防災スキルアップ研修会をオンラインで実施

久留米市校区まちづくり連絡協議会や  
各校区コミュニティセンターと連携し  
令和2年度に初めて実施



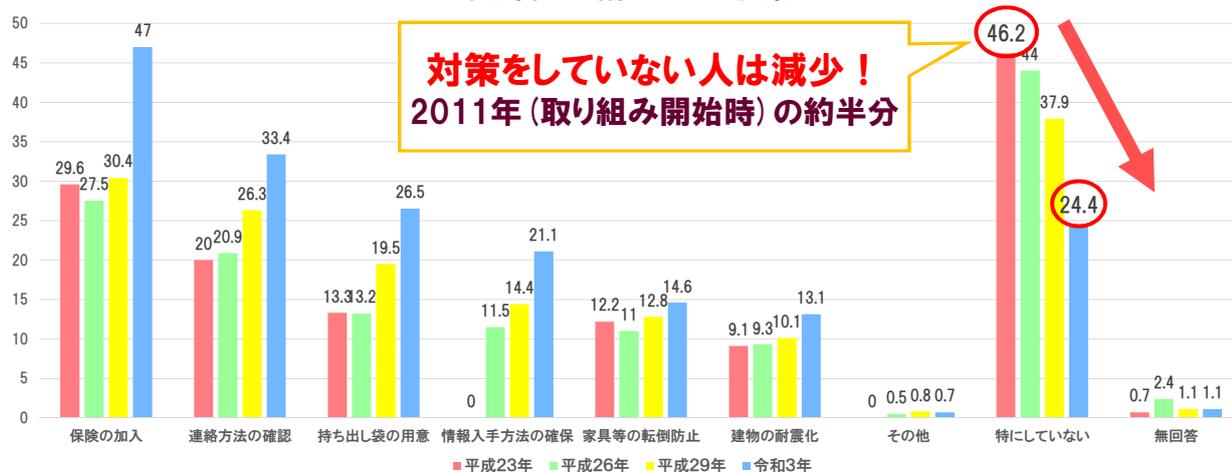
防災スキルアップ研修参加者数



## 8-1. 取り組みによる全体的な成果

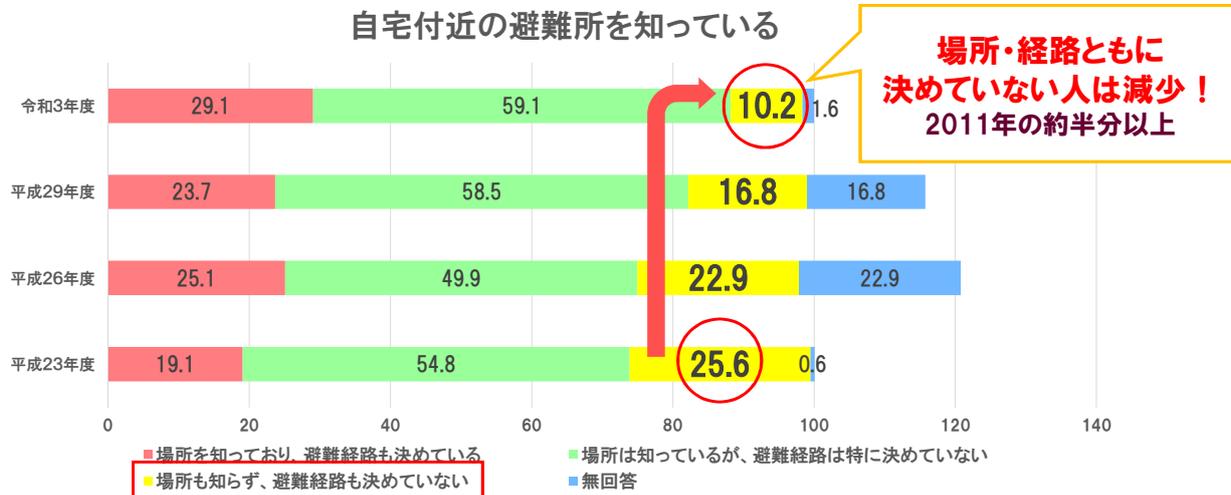
<出展：市民意識調査(2021年)>

災害に備えた対策

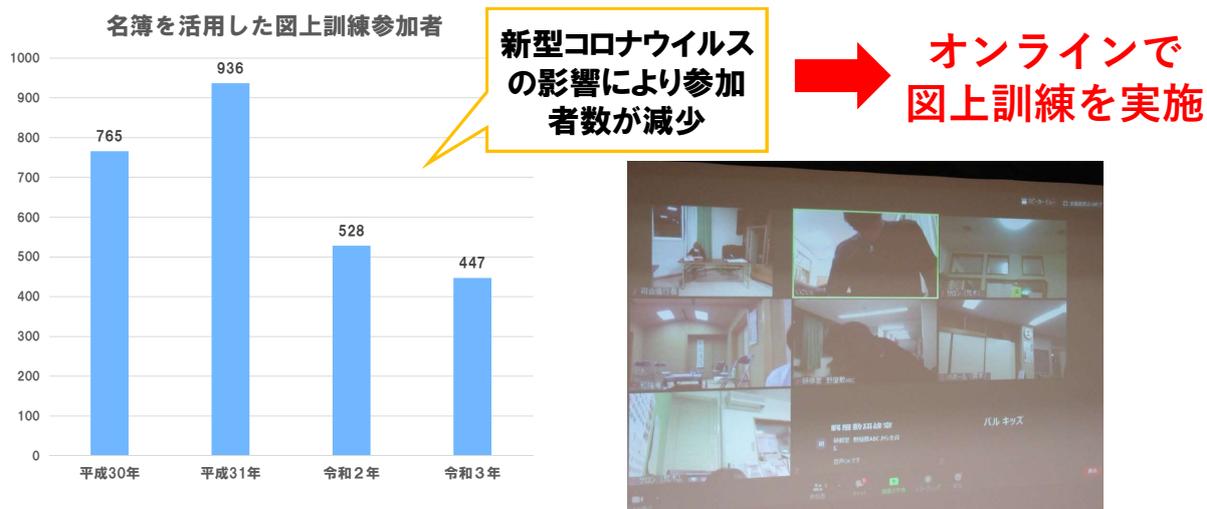


## 8-2. 取り組みによる全体的な成果

<出展:市民意識調査(2021年)>



## 8-3. 取り組みによる全体的な成果



## 9. 再認証取得後の変化・気付き

### 協働による防災対策の充実

SNSを活用した浸水情報等の投稿を可能とする  
「防災チャットボット」の導入！

「防災チャットボット」とは・・・  
専用のLINEアカウントを活用し、被害情報を投稿・共有するシステム



#### 【メリット】

- ・市内の被害状況を地図上に表示し利用者間で共有できる  
→ **わかりやすい情報発信**
- ・LINEを使ってその場で簡単に被害情報を投稿できる  
→ **リアルタイムな情報共有**

## 9. 再認証取得後の変化・気付き

### 取り組みについて

災害時マイプラン作成件数



自らの心身の状況に  
合わせたプラン作成の工夫



## 10. 課題・今後の対応

### ①市民の防災意識の向上

防災士や防災リーダーのさらなる養成と活動により当事者意識を向上

➡ 地域における防災士、防災リーダーの活躍の場が必要

### ②地域と行政の協働による防災対策

➡ 防災チャットボットの利用促進

### ③要支援者名簿の登録促進と活用

➡ 災害時マイプランの作成件数増加

このことにより、一層の市民の防災意識向上に協働で取り組む



ご清聴ありがとうございました。

防災対策委員会



## 広報啓発について

セーフコミュニティに関する市民の理解を深めるため、令和4年度から令和5年度にかけて、対策委員会の取組を「広報久留米」に隔月のシリーズで掲載します。また、昨年の市民意識調査の結果によると市民の皆様の情報取得媒体が多岐にわたることから、広報掲載とともに YouTube で動画も公開します。このほか、SNS を活用した周知・啓発についても検討中です。

掲載予定は以下のとおりです。

### ●掲載の概要

	広報久留米	動画
テーマ	データと成果	活動の様子とインタビュー
分量	1/2 ページ	5分～10分程度

### ●掲載月・内容（案）

対策委員会等	広報誌掲載月	広報久留米	動画公開月	動画
SC 全体	R4.7	・ケガや事故	R4.6	・救急搬送の現場から
防犯	R4.9	・街頭犯罪の認知件数 ・青パト校区数	R4.8	・青パト活動の様子
交通安全	R4.11	・事故発生件数	R4.10	・秋の交通安全キャンペーン ・見守り活動
防災	R5.1	・防災士・防災リーダーの養成数 ・スキルアップ研修会の参加者数	R4.12	・防災リーダー養成講座 ・校区の防災訓練の様子
自殺予防	R5.3	・研修会の開催回数、受講者数 ・参加者の意識変化（アンケート） ・かかりつけ医連携報告の件数	R5.2	・筑後かかりつけ医・産業医と精神科医連携研修会
DV 防止	R5.5	・理解度、講座感想等	R5.4	・デートDV授業風景 ・パープルリボンキャンペーン
児童虐待防止	R5.7	・イベントや講習会の参加者数 ・啓発チラシの配布枚数 ・児童相談の件数、児童虐待の対応件数	R5.6	・オレンジリボンキャンペーン ・CAP プログラム（教職員・地域向け）
学校安全	R5.9	・学校のケガや事故のデータ	R5.8	・地域との連携
高齢者の安全	R5.11	・転倒予防対策を行う人の割合 ・高齢者（65歳以上）の事故種別内訳 ・死亡統計における不慮の事故等	R5.10	・にこにこステップ運動教室 ・転倒予防パンフレットの配布

※掲載順・内容は今後、変更になる場合があります。

### 3. その他(1)

対策委員会 (8組織)	No.	対策委員会の施策	ワークシート意見
防災 対策委員会	8-①	定期的な防災研修・訓練・啓発の実施	・図上訓練でも実際の訓練でも屋間は高齢者しかいないからできないと初めからしない自治会長では困ります。初めは、老老避難訓練から初めてはどうでしょうか。また、グランドゴルフの帰りなどを使ってやる。できることからする。
	8-②	防災に精通しているリーダーの育成	・広報に災害の援助を促して常に記載し個人の参加を募る
	8-③	避難行動要支援者名簿の登録促進	・要支援者自身への個別支援計画の周知を進める。(本人に直接関係する部分だけでも、大きなわかりやすい文字や図で) ・名簿登録ができてても次に進まない絵に描いた餅です。私が住んでいるところでは、それを地図に落とし込んでいますが、それからは進みません。まずは、その地図を囲んで、自治委員・民生委員・老人会代表・自治会長などが確認をすることではないでしょうか。
	8-④	避難行動要支援者個別支援計画の充実	・図上訓練の参加者を拡大させる(学校、子ども会や PTA、育成会や身障協会、地元企業、事業所、福祉法人等へも参加呼びかけの声掛けをする) ・自らでプランを作成する「セルフプラン」の普及を図る(校区で実施する高齢者学級などで実施する。あるいは作成するための講座を行うなど)。 ・自分でできる人は自分で作る ・計画策定支援サークルの結成
	8-⑤	地域の避難計画を作成	・自分の身は自分で守る。ウォーキング方式で楽しみながら参加し危険な場所等を確認する